

平成29年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成30年3月末現在)

I. 課題解決支援の取組強化

取り組み項目	具体的な取り組み	進捗状況
1. 顧客の本業支援を推進するためのコンサルティング機能の強化		
①みやしんサポート相談室(みやサポ)の活用	<ul style="list-style-type: none"> ・起業・創業支援についての相談力の強化 ・事業承継・M&A支援 ・課題を客観的に分析した「課題の見える化」の推進 ・外部専門機関(f-Biz、よろず支援拠点、静岡県産業振興財団、静岡県事業引継ぎ支援センター、商工会議所・商工会、JETRO、SIBA、信金キャピタル(株)、信金中央金庫等)と連携した課題解決への取組 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度におけるみやしんサポート相談室への相談件数は317件で月平均相談件数26件、また新規相談者数は70先で月平均新規相談者数5先となっております。 ・よろず支援拠点と連携し「売れる広告づくり個別相談会」を12回開催しました。 ・富士宮市、富士宮商工会議所、芝川商工会、当金庫による創業支援会議を12回実施しました。また創業予定者を加えた5者による相談をサポート相談室にて3先実施し3先創業しました。
②お客さま相談プラザの活用	<ul style="list-style-type: none"> ・資産運用、保険商品、年金等の各種ご相談に応じ、ライフプランを支援する取組の実施 ・相続、税金問題等の専門家との連携 ・住宅資金・車購入資金等の個人向けローンのご相談に応じ、適切な融資商品の提案 	<ul style="list-style-type: none"> ・「お客さま相談プラザ」を活用しライフイベントに応じた資金作り、資産運用等のご提案を行いました。 ・「お客さま相談プラザ」に専門家を招いて「無料税務相談」(毎月2回)、「無料年金相談会」(毎月1回)、「遺言・相続全国一斉相談会」(11月15日)を実施しました。 ・個人の方の住宅ローン、教育ローンなど各種ローンのご相談に応じ、適切な融資商品のご案内、ご提案を行いました。
③海外進出支援	<ul style="list-style-type: none"> ・海外進出を検討する事業所への情報提供 ・日本貿易振興機構(JETRO)等支援機関との情報交換 ・営業店への情報発信 ・地域特産品の海外販路開拓支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・海外販路開拓支援として、信金中金の「海外セールス商品カタログ」への掲載について5先に個別訪問を行いご案内しました。また2先については公益社団法人静岡県国際経済振興会(SIBA)への同行訪問による個別相談を行いました。
2. 取引先の状況に応じた適切な解決策の提案と実行支援		
①経営課題に対するコンサルティング機能の発揮	<ul style="list-style-type: none"> ・地域経済・産業の現状や課題を適切に認識・分析 ・中小企業の事業内容・成長可能性などを適切に評価 ・目利き能力・コンサルティング能力の更なる向上 ・外部専門機関の機能を積極的に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・当地区の主な産業について、四半期毎に景気動向調査を実施し、業種別の動向や地域経済の見通しを把握しています。 ・事業性評価の取り組みとして、取引先企業を取り巻く市場の現状や中長期的な見通しを基に、取引先企業の強み・課題を把握し、成長可能性や持続可能性を評価しています。 ・営業店職員のコンサルティング能力向上のために、取引先企業の財務諸表だけでは分からない強み・課題を見つけ、コンサルティングの提案から実行支援まで行えるように、営業店男子職員を中心に、平成28年度に引き続き、事業性評価を実施しています。 ・取引先企業の経営課題に応じては、富士市産業支援センター(f-Biz)、商工会議所等の外部支援機関を積極的に活用しています。

平成29年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成30年3月末現在)

<p>②持続可能企業への経営改善・生産向上・体質強化支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先のライフステージに沿った支援策の提供 ・担保・保証に頼らない事業性評価を重視した融資支援 ・取引先との経営課題の共有化による経営改善計画書策定支援 ・「経営支援マニュアル」に基づく経営支援活動 ・外部専門家、外部支援機関等の情報提供および連携支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・創業期のお客様には、営業店サポート課と営業店が連携し、事業計画の検証を行う等、お客様のライフステージに沿った支援活動を行なっています。 ・担保・保証に過度に頼らない事業性評価についての手法を用い、28年4月から事業性評価シートの運用を実施しています。 ・顧客支援課より経営改善計画書策定シート他各種書式を提供し、経営改善計画策定支援を行っています。 ・「経営支援マニュアル」に基づき、経営支援先41先を選定し、対象事業先への経営支援活動を行なっています。 ・取引先企業の個別事情に応じて、適宜、外部専門家や外部支援機関を紹介し、積極的に連携支援を図っています。地域経済活性化支援機構(REVIC)による成長支援を実施しています。
<p>③抜本的な事業再生に向けた支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会等外部機構との連携による事業再生支援への取り組み ・取引先の状況に応じ、DDS、地域再生ファンド等を活用した抜本的な事業再生支援の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡県中小企業再生支援協議会、静岡県経営改善支援センターを利用し、取引先の事業再生に取り組んでいます。平成29年度、新規利用実績は2先となっております。 ・取引先の状況に応じて、DDS、地域再生ファンド等を活用した抜本的な事業再生支援の検討を行っていきます。
<p>④円滑な廃業支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の生活再建、地域社会への影響等を総合的に勘案した取引先事業所の事業再建可否の判断 ・取引先事業所の納得性を高めるための十分な説明を踏まえ、税理士、弁護士、サービサー等との連携により債務整理を前提とした再起に向けた方策の検討 ・経営者保証に関するガイドラインの活用検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・経営者の生活再建、地域社会への影響等を総合的に勘案し、事業継続の可能性を検証したうえで、再建の可否を判断しています。 ・事業継続が困難であると判断される取引先については、十分な説明のうえ、事業引継ぎ支援センター、弁護士等と連携し、事業譲渡や債務整理を前提とした廃業支援に取り組んでいます。 ・取引先企業の個別事情に応じて、経営者保証に関するガイドラインの活用を検討していきます。
<p>3. 金融仲介機能のベンチマークの活用</p>		
<p>①事業戦略・ビジネスモデルの改善・充実に対する活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価に基づく融資等、担保・保証に過度に頼らない融資姿勢 ・本業支援・企業のライフステージに応じたソリューションの提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業性評価に基づく融資については、平成29年12月26日に「事業性評価マニュアル」「事業性評価実施手順書」を制定し、その定義や手順について周知を図りました。その上で、本部担当課が関与し、営業店の実施する事業性評価の充実を図っています。平成29年度は、事業性評価の活用を視野に入れた活動をし、企業の抱える課題解決策としての金融支援(融資)、本業支援(ビジネスマッチング、専門家の活用)等に活用しています。 ・企業の抱える課題は、ライフステージにより大きく違うため、ライフステージに沿った支援を実施しています。特に、創業期においては、創業計画の策定から金融支援まで、再生期においては、外部専門機関を活用した再生計画の策定から、条件変更を含めた金融支援まで幅広い対応を実施しています。
<p>②地域密着型金融への取り組みに対する開示の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金融仲介機能のベンチマークを使用し、当金庫の取組み状況をディスクロージャー誌、ホームページ等を開示することを検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・金融仲介機能のベンチマークの開示については、地域密着型金融推進委員会に限らず、新たな枠組みも視野に入れ、引き続き検討していきます。
<p>③選択ベンチマークを利用した自己評価の活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・選択ベンチマークの進捗状況より、金融仲介機能に関する自己評価を実施 ・自己評価に基づき、今後の取組み方針、施策に活用 	<ul style="list-style-type: none"> ・選択ベンチマークについては、15項目を平成29年12月26日に選定しました。各選択ベンチマークの定義や抽出基準について、機関決定した上で、自己評価に活用できるよう引き続き検討していきます。

平成29年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成30年3月末現在)

II. 成長分野支援等の取り組み推進		
取り組み項目	具体的な取り組み	進捗状況
1. 取引先事業所の経営革新への取組み支援		
①「経営革新計画」承認申請支援	・商工会議所と連携した推進	・各地域の商工会議所、商工会と連携し、2社に対し「経営革新計画」承認の推進を図りました。
②地域プラットフォーム専門家派遣事業の活用	・公益財団法人静岡県産業振興財団、中小企業再生支援協議会およびミラサポ等を活用した派遣	・ミラサポを通じた専門家派遣を3先に行いました。 ・地方創生のための事業プロデューサー派遣事業を活用し専門家派遣を2先に行いました。 ・フーズサイエンスセンターの販路開拓アドバイザー派遣制度を活用し専門家派遣を1社に行いました。
③各種補助金についての申請支援	・補助金申請企業への個別訪問や申請補助推進	・ものづくり・商業・サービス革新補助金について5先に申請支援を行い、2先採択されました。 ・経営革新補助金について5先に申請支援を行い3先採択されました。
2. 新成長分野への積極的支援		
①産学官金連携強化	・川崎モデル知財マッチングを活用した支援 ・富士宮市の知的財産コーディネーター事業を通じた富士宮市との連携強化 ・シーズ情報のマッチング ・大学、研究機関と連携した支援	・中小企業の課題解決や企業間マッチングを目的として、富士宮市知財コーディネーターを中心に、富士宮市、富士宮商工会議所、芝川商工会、当金庫共同での企業訪問活動を開始しました。 ・12月5日、6日に「富士宮市キャラバン隊事業With川崎市」に参加、富士宮市、川崎市の職員とともに5社の企業訪問を実施しました。 ・静岡県経済産業部就業支援局職業能力開発課と中小企業への職業訓練について連携体制を強化するための相談を行いました。
②ファルマバレーセンターからの情報共有	・毎月開催される富士山麓産業支援ネットワーク会議参加により、県の新産業集積課を始めとした産学官金から提供される情報の発信 ・ファルマバレーセンターが毎年発行する地域企業紹介誌へ取引先企業の掲載を促進、ビジネスマッチングの機会充実を図る ・総合特区利子補給制度の顧客への周知を徹底、利用促進の推進	・ファルマバレーセンターからの情報を営業店を通じ、地域の顧客に発信しております。
3. 農業分野への支援		
①農業経営アドバイザーを活用した融資商品の推進	・アドバイザー4名を中心とした農業関連事業者への経営指導とアグリ商品(アグリサポート/ハーベスト)の推進	・農業分野に専門性の高い専担者が北部地域の酪農業を中心に開拓活動を行ないました。 ・1名が農業経営アドバイザーの資格を取得し農業経営アドバイザーは5名となりました。

平成29年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成30年3月末現在)

Ⅲ. 地域金融機関としての特性の発揮

1. ビジネスマッチング・商談会の推進

<p>①ビジネスマッチングによる販路開拓</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種展示会、商談会、異業種交流会等の参加者募集 ・ガイドブック等を活用した取引先事業所の販路開拓支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・取引先の事業拡大のため、各ビジネスフェア、商談会への参加者を募集しました。「第12回しんきんビジネスマッチング ビジネスフェア2017」5社の出店 「第15回ビジネスフェアしずおか2017」3社の出店 「富士山麓ビジネス商談会」発注企業1社、受注企業14社商談 「食&農こだわりの逸品展示会2017」14社の出店 「よい仕事おこしフェア2017」1社の出店 「2018うまいもん発掘市」3社商談 ・7月13日「MF-Tokyo2017 第5回プレス・板金・フォーミング展」への視察会を実施しました。
--------------------------	--	--

2. 地域商店街と連携した地域再生への参画

<p>①商店街主催催事への参画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富士宮商店街連盟等の催しに参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・第15回ふじのみやまちなかアートギャラリーの会場として神田支店2階を利用し参加協力しました。 ・8月7日「宮おどり」に参加しました。
<p>②空き店舗対策推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富士宮市、富士宮商店街連盟、富士宮商工会議所、みやしん地域振興協力基金、当金庫の5者連携による中心市街地活性化支援活動の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年4月より、左記の5者が連携して取り組んでいる富士宮市空き店舗対策事業の一つとして、公益財団法人みやしん地域振興協力基金は「富士宮市商店街空き店舗の賃借に関する賃借料補助金事業」を実施しています。平成30年3月末までに12先から家賃補助申請があったため、同連盟は、公益財団法人みやしん地域振興協力基金がこの事業の原資とするために同連盟に対して交付した助成金から家賃補助を行っています。
<p>③商店街活性化推進運動～外に出よう街を歩こう運動～の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全役職員による「外へ出よう街を歩こう運動」の実施 	<p>商店街活性化推進運動(全職員による商店街訪問運動)を上期7月～9月、下期1月～2月の年2回行い、同時にアンケート調査を実施し、取りまとめた資料を市役所商工振興課や商店街連盟に資料提供しました。</p>
<p>④富士山世界遺産センター建設に合わせた商店街活性化への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山世界遺産センター開設に向けた各商店街行事への支援 ・富士山世界遺産センター開設により増加が予想される観光客向けに対応する個店への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山世界遺産センターの運営事務局を訪問し、商店街活性化のための協力姿勢を伝えるとともに情報交換を行いました。 ・富士山世界遺産センター開設により増加が予想される観光客への対応体制として課題となっていること等を聞き取るため商店街への個別訪問を実施しました。

3. イメージアップに向けた取組強化

<p>①イメージアップ戦略の強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者等を対象とした金融犯罪未然防止活動の実施 ・外部機関と連携した地域寄り合い処・子育てサロン等での地域貢献活動の実施 ・お客さま相談プラザの「ベビ・ステ」認定継続のため、講習会等へ出席し利用促進に努める 	<ul style="list-style-type: none"> ・富士宮警察署などの外部機関と連携し、「振り込め詐欺」等の金融犯罪未然防止活動を行ないました。 ・社会福祉協議会等と連携し、地域寄り合い処、子育てサロン等にて金融知識の啓蒙活動を行ないました。 ・北支店、お客さま相談プラザは、「ベビ・ステ」として、粉ミルクのお湯の提供、おむつ交換可能設備の整備、子育て関連情報の発信等を行っています。また、認定継続のため、登録施設の整備、講習会等へ出席しました。 ・5年に一度のイベントである第11回富士宮商工フェアに出店し、イメージアップに努めました。
----------------------	--	---

平成29年度富士宮信用金庫「地域密着型金融推進計画」進捗状況(平成30年3月末現在)

<p>②地域貢献・社会貢献活動への積極的な参加</p>	<p>・地域内の催事への参加等 ・公益財団法人みやしん地域振興協力基金を活用した地域振興事業への助成事業</p>	<p><公益財団法人みやしん地域振興協力基金に関する事業> ・平成29年度は25先・8,230千円の助成を決定しておりましたが、このうち取下げが1件、減額1件があったため、助成実績は24先・7,970千円となりました。 ・平成30年度は27先の団体に対して、8,460千円の助成を決定しました。 ・平成26年4月に富士宮市、富士宮商店街連盟、富士宮商工会議所、みやしん地域振興協力基金、当金庫間で「富士宮市空き店舗等対策事業費補助金」への連携・協力に関する「覚書」を締結し、5者が連携して中心市街地活性化に取り組んでいます。平成30年3月末現在、12先に対して富士宮市からの補助金交付が決定し開業、この12先から富士宮商店街連盟に対して家賃補助申請があったため、同連盟はみやしん地域振興協力基金より交付された助成金から家賃補助を実施しました。また、平成30年度も継続事業として本制度に対する助成金交付が決定しております。 ・平成30年2月7日には自主事業として講演会を開催しました。講師に日本語学者の金田一秀穂氏を招き、約200名の聴講者が来場しました。</p>
<p>③金融教育活動への取り組み</p>	<p>・親子で学ぶ金融教室実施</p>	<p>・平成30年3月22日、上井出小の児童クラブの児童を対象に「みやしん金融教室」を実施、12名が参加しました。</p>
<p>4. 職域セールスによる個人ローン等の推進</p>		
<p>①職域セールスを活用した営業推進</p>	<p>・地域企業・事業者の従業員のみなさま等に、当金庫の商品を優遇条件で提供することにより地域企業・事業者の福利厚生の充実と資産形成に貢献する</p>	<p>・地域企業・事業者の福利厚生の充実と従業員のみなさまの資産形成に貢献することを目的として、事業所等にて、当金庫の商品説明、資産形成のご提案等を行いました。</p>